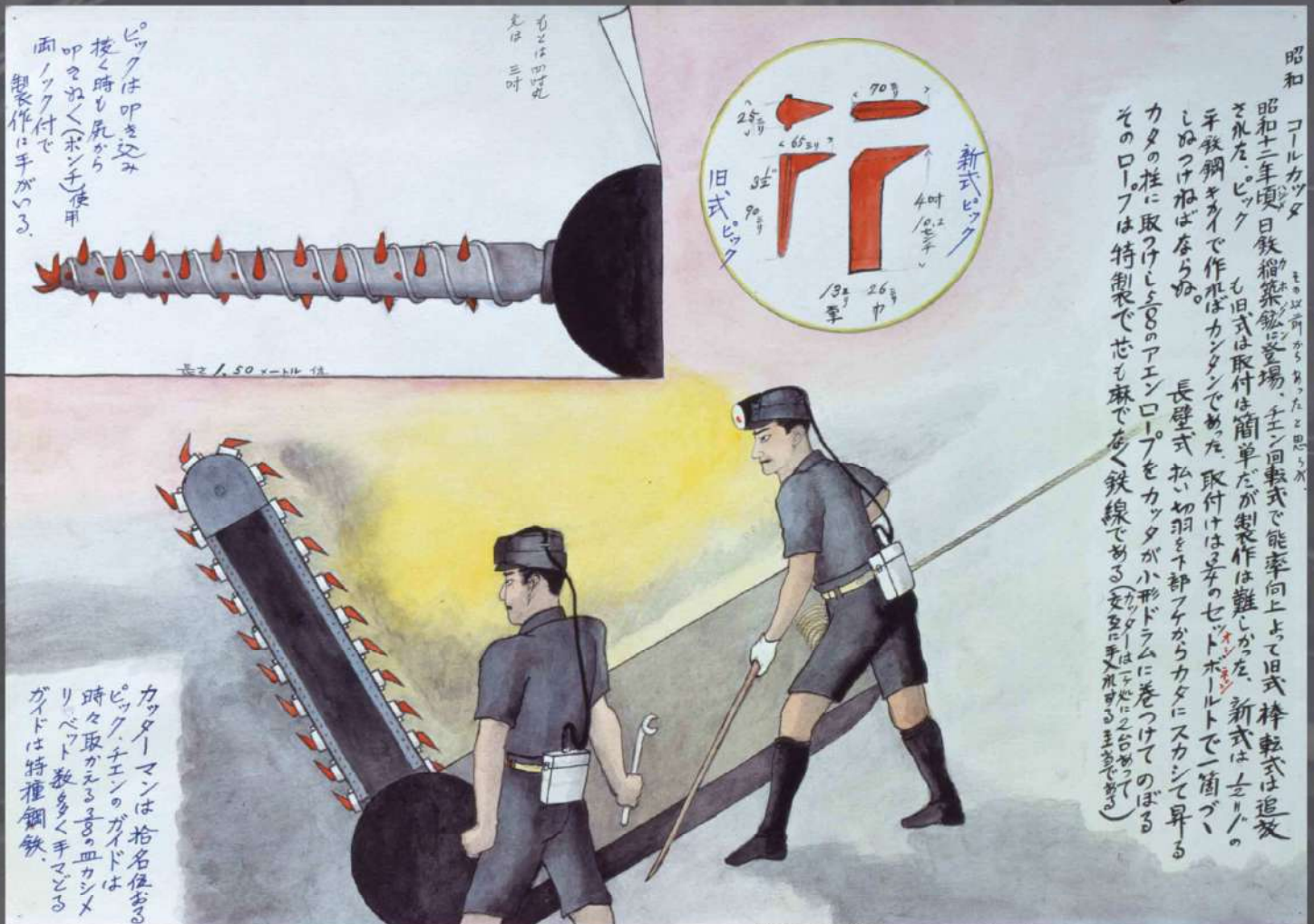


ヤマの機械たち



石炭に挑む技術と機械



コールカッター ©Yamamoto Family

会期 2024年10月22日(火)～11月24日(日)

- ◆ 会期中の休館日 10/28(月) 11/5(火) 11/11(月) 11/18(月)
- ◆ 開館時間 9:30-17:30 (入館は17:00まで)

会場 田川市石炭・歴史博物館

主催 田川市石炭・歴史博物館 田川市教育委員会

協力 九州大学総合研究博物館 九州大学大学図書館 九州歴史資料館 飯塚市教育委員会 直方市教育委員会 宮若市教育委員会 飯塚市歴史資料館 直方市石炭記念館 宮若市石炭記念館 鎮西市立博物館

【特別協力】田川市美術館 作兵衛(作たん)事務所



田川市石炭・歴史博物館

田川市大字伊田 2734-1 Tel&Fax 0947-44-5745 観覧料 一般400(280)円 高校生100(70)円 小中学生50(30)円

田川市石炭・歴史博物館



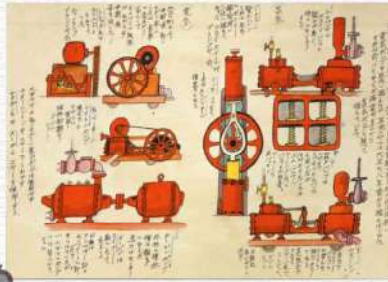
<https://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/list00784.html>

YouTube チャンネルはこちら

採炭等の能率を上げるため、特に資本力のある大炭坑では、積極的に技術 / 機械を導入していきました。炭坑記録画には、山本作兵衛翁が機械を説明する作品もあり、様々な機械が炭坑で活躍していたことがわかります。山本作兵衛翁が記録した筑豊炭田は手掘り採炭の印象が強く、先進的な機械採炭の導入や利用についてはあまり知られていない部分もあります。炭坑記録画とともに、石炭に挑んだ「ヤマの機械たち」の存在を知り、筑豊炭田について理解を深めていただければ幸いです。

第1章：筑豊炭田の機械化

筑豊炭田で機械化の指標となったポンプ。ポンプには多くの種類があり、作兵衛翁は蒸気ポンプ、電気ポンプなどに分けて細かく描いています。



坑内坑外のポンプ



コールカッター

第2章：採炭・掘進の機械

コールカッターなど、採炭に使用された機械は、棒式やピックなどの新旧までも、とてもわかりやすく描かれています。

第3章：石炭を運ぶ機械

切羽運搬もコンベアーを使って効率よく運べるように改良されていきます。炭坑記録画ではコンベアーの仕組みがよくわかります。



チェーンコンベアー



鍛冶屋

第4章：機械たちの製作・修繕

機械を導入するとそのメンテナンスも必要になってきます。また、機械そのものもメーカーで製作されるようになります。

炭坑記録画©Yamamoto Family

田川市石炭・歴史博物館 & 田川市美術館コラボ企画！

光の1 スタンプラリー

石炭・歴史博物館と田川市美術館の2館で秋季企画展を観覧された方に記念品をプレゼント！

期間 2024/11/2 Sat.~2024/11/24 Sun.

- 美術館・博物館の観覧順は問いませんが2館とも観覧する必要があります
- 上記期間をすぎたからの記念品のお渡しはできません
- スタンプ台紙は一人一枚の配布とします
- 1日で2館観覧する必要はありませんが、押印した台紙の再発行はいたしません



田川市美術館の秋季企画展情報
「コールマイン未来構想 記憶を紡ぐー炭坑文化の未来を考える」
展覧会期間 2024/11/2 Sat.~2024/11/24 Sun.

光の2 学芸員コラボトーク 石炭がつなぐアート&ヒストリー

石炭・歴史博物館と田川市美術館の学芸員が行う企画展紹介の様子を動画で公開します！

前編：「炭坑の機械たち」編
10月下旬 公開予定

石炭・歴史博物館 YouTube チャンネルはこちら



後編：「コールマイン未来構想
記憶を紡ぐ」編
11月上旬 公開予定

田川市美術館 YouTube チャンネルはこちら



田川市石炭・歴史博物館のご案内

- ◆開館時間
9時30分~17時30分(入館は17時まで)
- ◆交通
JR・平成筑豊鉄道 田川伊田駅下車 徒歩8分
西鉄バス 石炭記念公園口バス停下車 徒歩5分
- ◆観覧料

	個人	団体(20人以上)	障がい者(※1)
一般	400円(※3)	280円	100円
高校生(※2)	100円	70円	50円
小中学生(※2)	50円	30円	30円

※1 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳等の交付を受けている方が対象です。来館の際に、減額の対象であることを証明する書類または手帳を受付でご提示ください。

※2 毎週土曜日は、高校生以下は無料でご覧いただけます。
※3 65歳以上、または福岡県立大学生の方の観覧料は280円です。

◆未就学児は無料です◆

